

パソコンによる婦人衣服基本形態パターンの補正  
 福山市立女短大 ○増田智恵 山本百合子  
 広島県福山織工試 古川 昇

【目的】 パソコンにより婦人衣服基本形態パターンを製図し、パターン作成の合理化を図ったが、個人に適合したパターンを得るためには、補正をする場合も少なくない。したがって、パターンの補正もパソコンで行われなければ、基本形態パターン作成システムを完成したとはいえない。本報では、このシステムの一貫として、基本的な補正を対話形式で行うためのプログラムを開発した。

【方法】 パソコンの機器構成：本体 NEC P-C 9801m2, プロッタ (GRAPHTEC WX4731), デジタイザ (GRAPHTEC KD4030A), イメージスキャナ (NEC PC-IN502)。パターン補正プログラムの流れを、図1に示す。補正は、初心者にも理解しやすいように、部位ごとにトラブル例を画面に図示し、それに応じたパターンでの補正方法とともに、補正量を入力するとパターンが修正できるように支援した。曲線部分の修正は、デジタイザでも入力可能とした。

【結果】 1.婦人衣服基本形態パターンの基本的な補正がパソコンでも可能となり、パソコンによる基本形態パターン作成システムの充実が図られた、2.着用時のトラブル例から補正方法を選択する形式は、初心者にもわかり易くかつ被服教育での補正の学習に有効である。3.補正後パターンの保存や再現が容易となり、更にパターンの寸法やゆとりなどの情報が短時間で得られるようになった。

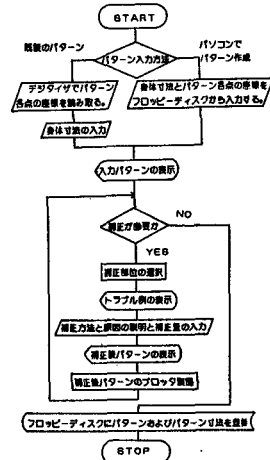


図1 補正の流れ図